

## 学習課題(小学校2年生)

【おんがく】パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜学習内容＞（きょうかしよ 26～27 ページ）

◆うたにあわせて、『ぷっかり くじら』をけんばんハーモニカでふきましょう。

※参考動画 [http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai\\_shou2.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou2.html)



(1) 『ぷっかりくじら』をききましょう。かしで うたえるようになるまで、くりかえし ききましょう。

かだい5  
おんせいあり

(2) かしで うたえるようになったら、けんばんハーモニカのパートを かいめい（ドレミ）でうたいましょう。

かだい5  
おんせいあり

(3) けんばんハーモニカで えんそうしてみましょう。ゆびのばしよをかえるところに 気をつけて れんしゅうしましょう。

かだい5  
ひとつめのどうが

※きょうかしよにかいてある ゆびばんごうのとおりに えんそうすると、じょうずに ひけますよ。

(4) 「せんりつあそび」の☆から一つずつ 音をえらんできょうかしよにかきましょう。できたら、えんそうにあわせて ふいてみましょう。

かだい5  
ふたつめのどうが

※音の えらびかたは、どうがで かくにんしよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・例えば、初めのミは1の指で、次に出てくるミは3の指で演奏するというように、同じ音でも使う指が変わる曲です。教科書に記載されている指番号を守って演奏できるよう、声かけをしてみてください。難しい場合は、指番号が書いている箇所を指さしたり、「1」「2」と読んであげたりすると、分かりやすくなります。
- ・「せんりつあそび」は、☆の音から選ぶと、どの音を選んでも主旋律に合うようになっています。1つだけではなく、いろいろなパターンを作るとより楽しく活動できます。「違う旋律も作ってみてごらん。」などと声をかけてみてください。